一般社団法人日本粘土学会 平成 30 年度総会議案書

日 時:平成 30 年 9 月 10 日(月)10:45～12:00
場 所:早稲田大学 西早稲田(理工)キャンパス 52 号館 204 教室
(東京都新宿区大久保 3-4-1)

総 会 次 第

開 会

総会の成立報告

会長挨拶

議長の選任

議事録署名人の指名

Ⅰ. 審議事項

第1号議案 平成 30 年度事業報告

第2号議案 平成 30 年度収支決算報告及び監査報告

第3号議案 平成 31 年度事業計画

第4号議案 平成 31 年度収支予算

第5号議案 平成 31・32 年度理事の選任

第6号議案 平成 31・32 年度会長の選任

第7号議案 平成 31・32 年度監事の選任

第 8 号議案 名誉会員の推薦

Ⅱ. 報告事項

1. 平成 30 年度学会賞等の受賞者

2. 平成 30 年度学術振興賞の受賞者

3. 第 62 回粘土科学討論会の開催状況

閉 会

一般社団法人日本粘土学会 平成 30 年度総会

Ⅰ. 審 議 事 項

第1号議案 平成 30 年度事業報告

一般社団法人日本粘土学会 平成 30 年度事業報告書
（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）

1. 学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

平成29年8月：第56巻1号の発行。主な掲載内容は、第61回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）、日本粘土学会平成29年度総会案内、論文1報、学術振興賞受賞者学会参加報告、研究グループ活動報告および書評1報。本号から表紙デザインを一部変更し、4色刷りから2色刷りへの変更も行った。粘土科学では本号から掲載料方式の運用を開始した。

平成29年12月：第56巻2・3合併号を発行。主な掲載内容は、第62回粘土科学討論会の予告、平成30年度日本粘土学会学会賞等（学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞）受賞候補者の募集、平成30年度日本粘土学会学術振興賞の募集、平成31・32年度役員候補者の推薦公募、平成29年度日本粘土学会学会賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀講演賞の選考結果報告、平成29年度学術振興賞の受賞報告、第61回粘土科学討論会の報告、論文1編および総会議事録等の学会記事。

平成30年3月：セメント協会及び信州大学からの粘土科学の引用転載依頼に対して、出典と改変の明記を条件に申請を許可した。

平成30年4月：粘土科学引用転載申請書において事務局住所の修正を行った。

平成30年6月：（株）テクノシステムからの粘土科学の引用転載依頼に対して、出典と改変の明記を条件に申請を許可した。

平成30年5月：第57巻1号を発行。主な掲載内容は、第62回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込み等）、日本粘土学会研究グループ設立のお知らせ及び学会記事。

本年度の論文受付数：6 編、受理数：1 編、7 月 19 日現在で審査中：2 編

(2) Clay Science

平成 29 年 8 月 Vol.21, No.3 掲載論文数 3 編
平成 29 年 12 月 Vol.21, No.4 掲載論文数 2 編
平成 30 年 3 月 Vol.22, No.1 掲載論文数 3 編
平成 30 年 6 月 Vol.22, No.2 掲載論文数 3 編
7 月 31 日現在査読中 2 編
転載許可 3 件(信州大学1件、クイーンズランド大学 2 件)

2. 研究発表会・見学会等の開催

(1) 第 61 回粘土科学討論会(富山大学)の開催

平成 29 年 9 月 25～27 日：第 61 回粘土科学討論会（富山大会）を開催した。講演数及び参加登録者、懇親会参加者、見学会参加者は次のとおりです。

1) 講演数：特別講演 1 件、シンポジウム講演 4 件、一般講演 口頭発表 48 件、ポスター発表 33 件、合計 86 件
2) 参加登録者：正会員 97 名、シニア会員 1 名、共催学会員 6 名、学生会員 18 名、一般非会員 9 名、学生非会員 16 名、合計 148 名
3) 懇親会参加者 97 名
4) 見学会参加者 24 名

(2) 第 62 回粘土科学討論会(早稲田大学)の準備

1) 平成 29 年 12 月 討論会の開催予告をホームページに掲載した。
2) 平成 30 年 9 月 10 日（月）、11 日（火）開催の討論会会場として、早稲田大学西早稲田（理工）キャンパスの教室などの施設の予約を済ませた。
3) 平成 30 年5月 討論会専用の振込口座を開設し、学会事務局にて、講演要旨集の USB メモリー作成の打合せと見積もりを行った。第 62 回粘土科学討論会のお知らせ（1st サーキュラー）をホームページと粘土科学に掲

載した。

4) 平成 30 年 6 月-7月　第 62 回粘土科学討論会の講演申し込み、参加申し込み、講演要旨の受付を行った。
5) 平成 30 年7月 16 日　第 62 回粘土科学討論会のプログラム編成会議を行った。
6) 平成 30 年7月　第 62 回粘土科学討論会要旨集（USB）の編集、および当日配布プログラムへの広告掲載依頼を行った。
7) 平成 30 年7月　第 62 回粘土科学討論会のお知らせ（2nd サーキュラー）の編集を行った。

3. シンポジウム・セミナーの開催

(1) 第 61 回粘土科学討論会でのシンポジウム開催

1) 平成 29 年 9 月 25 日：シンポジウム「粘土鉱物と有機高分子～粘土界面における相互作用の応用～」（特別招待講演を含め講師4名）」を開催した。
2) 粘土科学第 56 巻第 2・3 号掲載のためのシンポジウム報告を作成した。

(2) 第 62 回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備

1) 平成 30 年 1 月 27 日：第 62 回粘土科学討論会でのシンポジウムの概略を草案した。
シンポジウムのテーマは「「粘土周辺の無機材料」（仮題）とし、開催時間3時間半程度（講師5名程度、講演時間 30 分程度/1 人）の開催予定で提案した。
2) 平成 30 年 2～4 月：各講演タイトル、スケジュール等を決定し、実行委員会に報告した。
3) 平成 30 年 6～7 月：各講演者に登録手続き・講演要旨提出の依頼等の事務連絡を実施した。

4. 参考粘土試料

平成30年7月現在、参考試料として、カオリナイト(関白)、ディッカイト(勝光山)、パイロフィライト(勝光山)、モンモリロナイト(月布・三川)、合成サポナイト(クニミネ工業)、ハイドロバイオタイト(南アフリカ)の７種類を頒布している。平成 30 年 5 月よりハイドロバイオタイト(南アフリカ)の頒布を開始した。

平成 29 年8月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日分までの頒布状況は以下の通りである。

JSCC-1101b	カオリナイト(関白)	2,200g
JSCC-1301	ディッカイト(勝光山)	800g
JSCC-2101	パイロフィライト(勝光山)	1,000g
JSCC-3101	モンモリロナイト(月布)	2,000g
JSCC-3102	モンモリロナイト(三川)	1,200g
JSCC-3501	合成サポナイト(クニミネ工業)	1,300g
JSCC-5501	ハイドロバイオタイト(南アフリカ)	200g

5. 広　報

平成 29 年 10 月：学会事務局の変更に伴い、ホームページ上の事務局住所など関係箇所の修正を行った。また、日本粘土学会定款および規程の更新、総会等議事録の更新を行った。

平成 29 年 11 月：粘土科学討論会および学会賞受賞者に関連する項目に関して最新情報に更新を行った。また、ホームページ上で「標準」粘土試料と記載されていた箇所をすべて「参考」粘土試料と変更した。ホームページ上に「マイページ」を開設した。

平成 29 年 12 月：平成 31・32 年度役員候補者の推薦公募、学会賞等受賞候補者の募集、学術振興賞の募集、粘土科学討論会報告および開催案内を掲載し、その他各種申請書等の軽微な変更を行った。

平成 30 年 2 月：年会費請求時期の変更および Clay Science 冊子体購読希望のアンケートに関する情報の掲載を行った。

平成 30 年 3 月：第 62 回粘土科学討論会のお知らせ（1st サーキュラー）の掲載を行った。

平成 30 年 4 月：平成 30 年度日本粘土学会賞等（学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞）受賞候補者推薦募集、平成 30 年度学術振興賞募集に関する案内の掲載および一斉メールによる周知を行った。また、平成 31・32 年度役員候補者の推薦公募の案内を再掲した。参考粘土試料の改定に伴い、ホームページの更新および一斉メールによる周知を行った。

平成 30 年 6 月：第 62 回粘土科学討論会の開催案内の掲載と、各種申込フォームへのリンクを開設した。

その他：

(1)上記期間内に寄せられた粘土科学 Q&A 数件に関して、対応すべき内容に関して適切に対応を行った。また、粘土科学 Q&A への対応強化のために、広報委員会の設立に関する検討を開始した。

(2)各種申請書類等の軽微な変更、更新を行った。

6. 渉 外

平成30年1月にAIPEAニュースレターの作成及び送付を行った。ハワイホノルルで開催されたAOGS2018で、粘土鉱物を含む Applied Mineralogy に関するセッションを開催し、日本、韓国、フィリピン、ミャンマー、インドネシア等のアジア諸国における研究のアクティビティが紹介された。第 4 回アジア粘土会議について LOC とのメール打ち合わせを行った。第 5 回アジア粘土会議と米国粘土学会の年会に関する協力関係に関して議論を継続中。

7. 表 彰

(1)学会賞等

平成 29 年 9 月 25 日開催の平成 29 年度表彰式で、次のとおり学会賞等の受賞者が表彰された。優秀講演賞については、平成 29 年 11 月に各受賞者へ賞状が送付された。

学会賞:川俣 純 (山口大学大学院創成科学研究科)
授賞題目「粘土鉱物-有機化合物ハイブリッドによる光学材料の創製」

技術賞:田谷野孝夫、村田昌英、内野英史、寒河江竹弘(日本ポリケム株式会社(賛助会員) 研究開発部)
授賞題目「オレフィン重合用メタロセン触媒への粘土鉱物の適用」

論文賞:安楽総太郎、松原勇武、森本和也、佐藤 努
論文:オマーンオフィオライトに湧出する高アルカリ泉周辺における二次鉱物の生成とその要因、粘土科学(2017)、第 55 巻第 2 号、17-30

論文賞:M. Komatsu, K. Tamura, K. Saruwatari, A. Yamagishi, and H. Sato
論文:QCM studies on adsorption of water molecules on a single-layered clay film, Clay Science (2016) 20(1), 13-19.

学術振興賞
長下 敬(山口大学大学院創成科学研究科)
小池正和(早稲田大学大学院先進理工学研究科)

優秀講演賞
口 頭 発 表:木村駿(東京工業大学大学院理工学研究科)、宮川雅矢(中央大学理工学部)
ポスター発表:菊池亮佑(東京大学大学院理学研究科)、田島一輝(信州大学大学院総合理工学研究科)

8. 研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部(5 万円)の援助を実施する。
活動中の研究グループ:なし、申請承認済のグループ(8月から活動開始):1件

9. 庶 務

(1) 他学会等との連絡・協力

団体会員として参加する日本地球惑星科学連合の第 17 回学協会長会議が平成 29 年 10 月 12 日に開催された。会議では連合の活動、日本学術会議の第 24 期活動計画等について報告があった。第 18 回学協会長会議は平成 30 年 5 月 22 日に開催された。

(2) 関連学協会との共催・協賛

下記の共催 3 件、協賛 10 件を行った。また、平成 31 年度事業年度期間中の共催 1 件、協賛 5 件の依頼があった。

共催
1) 第 60 回薄片研磨片技術討論会(H29/10/5～6) 日本薄片研磨片技術研究会
2) 環境放射能除染学会第 13 回講演会(H30/1/26) 環境放射能除染学会
3) 第 7 回環境放射能除染研究発表会・国際シンポジウム(H30/7/3～4) 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会(通称:環境放射能除染学会)

協賛
1) 熱測定サマースクール 2017(第 79 回熱測定講習会)～最先端熱測定技術を基礎から学ぶ～ (H29/8/28～29) 日本熱測定学会
2) 低次元系光機能材料研究会 第 6 回サマーセミナー2017(H29/9/7～8)日本化学会 低次元系光機能材

料研究会
3) 第 30 回秋季シンポジウム特定セッション「セラミックス材料による水/環境技術の最前線」(H29/9/19) 日本セラミックス協会分野横断型研究体「水資源の確保と保全に向けた浄化材料と技術に関する研究体」
4) 粉体工業展大阪 2017(H29/10/11～13) 日本粉体工業技術協会
5) 公開シンポジウム:層状複水酸化物の最新科学(H29/10/12) 層状複水酸化物研究会
6) 第 53 回 X 線分析討論会(H29/10/26～27) 日本分析化学会
7) 8th International and 10th Japan-China Joint Symposium on Calorimetry(CATS-2017)(H29/11/2～4) 日本熱測定学会
8) 第 53 回熱測定討論会(H29/11/4～6) 日本熱測定学会
9) 第 33 回ゼオライト研究発表会(H29/11/30～12/1) 日本ゼオライト学会
10) 2018 産業技術総合研究所中部センター研究講演会(H30/1/29) 産業技術総合研究所中部センター

共催・協賛依頼
11) 6th International Solvothermal& Hydrothermal Association Conference (ISHA2018)(H30/8/8～12) 東北大学多元物質科学研究所
12) 第 31 回秋季シンポジウムセッション「資源・水・空気環境の改善に向けたマテリアルイノベーション」(H30/9/5～7) 日本セラミックス協会
13) (共催) 第 61 回日本薄片研磨片技術研究会研究発表討論会(H30/10/9～11) 日本薄片研磨片技術研究会
14) 第 54 回 X 線分析討論会(H30/10/25～26) 日本分析化学会 X 線分析研究懇談会
15) 国際粉体工業展東京 2018(H30/11/28～30) 日本粉体工業技術協会
16) 第 34 回ゼオライト研究発表会(H30/11/29～30) 日本ゼオライト学会

(3) 会員動向

会員種別	H29 8/1	H30 1/27	H30 7/31
正会員	309	301	299
学生会員	38	32	25
シニア会員	9	8	8
名誉会員	20	20	19
賛助会員	27 (1 級 7, 2 級 7, 3 級 13)	27 (1 級 7, 2 級 7, 3 級 13)	27 (1 級 7, 2 級 7, 3 級 13)

10. 学会誌等の電子化推進

(1) 学会誌等の J-STAGE 登録

平成 29 年 12 月:粘土科学 48 巻 2 号、54 巻 3 号、Clay Science 20 巻 1, 2 号の J-STAGE 登録完了。
平成 30 年 6 月:第 59、60 回粘土科学討論会講演要旨集の J-STAGE 登録完了。
平成 30 年 7 月:第 61 回粘土科学討論会講演要旨集の J-STAGE 登録完了。

(2) Clay Science の電子ジャーナル化の準備

平成 29 年 9 月 25 日の総会で、J-STAGE をプラットホームとした電子ジャーナルに移行するためのアナウンスを実施した。平成 30 年 2 月 23 日に電子ジャーナル化のお知らせをホームページに掲載し、冊子体の購読希望の有無に関するアンケートを実施。平成 30 年 6 月に年会費と一緒に Clay Science 冊子体購読希望者の購読料振込を開始した。

(3) 粘土科学討論会講演要旨集の電子化の準備

1) 第 62 回粘土科学討論会から講演要旨集の冊子体の発行は行わず、討論会当日に USB メモリーによる電子ファイルの配布を行うための作業工程について、事務局(国際文献社)との打ち合わせを行った。また、討論会開催後の J―STAGE への登録プロセスについても、同事務局と打ち合わせを行った。
2) 平成 30 年 5 月 学会事務局にて、講演要旨集の USB 作成および討論会開催後の J-STAGE への登録についての再打ち合わせと見積もりを行った。

11. 常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

平成 30 年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催した。

9 月 26 日(火)第1回常務委員会

主な議題:平成 30 年度年間スケジュール、平成 30 年度常務委員の役割分担、粘土科学討論会について

1 月 27 日(土)第 2 回常務委員会

主な議題:平成 30 年度事業中間報告、平成 30 年度会計中間報告、Clay Science 電子ジャーナル化後の冊子体購読料、会費請求時期の変更について、研究グループの設立について、広報委員会の設置について、第 61 回粘土科学討論会会計報告、第 62 回粘土科学討論会について、第 63 回粘土科学討論会について、その他

7 月 28 日(土)第 3 回常務委員会

主な議題:平成 30 年度事業中間報告、平成 30 年度会計中間報告、平成 31 年度業務委託契約、平成 31 年度事業計画、平成 31 年度予算、平成 30 年度日本粘土学会学会賞等選考結果、平成 30 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、平成 31・32 年度日本粘土学会役員選挙結果、名誉会員の推薦、平成 30 年度総会議案、粘土科学討論会について、その他

8 月 25 日(土)第 4 回常務委員会

主な議題:平成 30 年度事業報告、平成 30 年度収支決算報告及び監査報告、平成 31 年度事業計画、平成 31 年度収支予算、平成 30 年度総会の日時、場所、議案及びその内容、平成 30 年度総会の準備、進行、登記のスケジュール、平成 30 年度表彰式の進行、第 62 回粘土科学討論会について、その他

(2) 理事会

平成 30 年度事業の業務執行を決定するため、下記のとおり理事会を開催した。

9 月 25 日(月)第1回理事会

主な議題:主な議題:平成 30 年度年間スケジュール、平成 30 年度常務委員の役割分担、粘土科学討論会について

1 月 27 日(土)第2回理事会

主な議題:平成 30 年度事業中間報告、平成 30 年度会計中間報告、Clay Science 電子ジャーナル化後の冊子体購読料、会費請求時期の変更について、研究グループの設立について、広報委員会の設置について、第 61 回粘土科学討論会会計報告、第 62 回粘土科学討論会について、第 63 回粘土科学討論会について、その他

7 月 28 日(土)第 3 回理事会

主な議題:平成 30 年度事業中間報告、平成 30 年度会計中間報告、平成 31 年度業務委託契約、平成 31 年度事業計画、平成 31 年度予算、平成 30 年度日本粘土学会学会賞等選考結果、平成 30 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、平成 31・32 年度日本粘土学会役員選挙結果、名誉会員の推薦、平成 30 年度総会議案、粘土科学討論会について、その他

8 月 25 日(土)第 4 回理事会

主な議題:平成 30 年度事業報告、平成 30 年度収支決算報告及び監査報告、平成 31 年度事業計画、平成 31 年度収支予算、平成 30 年度総会の日時、場所、議案及びその内容、平成 30 年度総会の準備、進行、登記のスケジュール、平成 30 年度表彰式の進行、第 62 回粘土科学討論会について、その他

第2号議案　平成 30 年度収支決算報告及び監査報告

一般社団法人日本粘土学会　平成 30 年度収支決算報告書

（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年7月 31 日）

1．平成 30 年度収支計算書

一般会計　　（単位:円）

科　　目	予算額 (H29.8.1～H30.7.31)	決算額 (H29.8.1～H30.7.31)	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	2,852,850	3,023,000	-170,150	
正会員会費収入	1,932,000	2,154,500	-222,500	当年度 7,000 円×274 名（未納者30名）、3500 円×1、2000 円×1、過年度 7,000 円×33 名
シニア会員会費収入	28,000	35,000	-7,000	当年度 3,500 円×8 名、過年度 3,500 円×2名
学生会員会費収入	122,850	84,000	38,850	当年度 3,500 円×17名（未納者 10名）、過年度 3,500 円×7名
賛助会員会費収入	770,000	750,000	20,000	40,000 円×6社、30,000 円×7 社、20,000 円×12社(未納2社) 過年度 40,000×1 社、20,000 ×1 社
② 学会誌出版事業収入	2,020,000	1,811,112	208,888	
図書頒布収入	1,270,000	1,071,952	198,048	
粘土科学誌 委託販売収入	100,000	74,304	25,696	43 冊 単価 1,728 円
粘土科学誌 購読料収入	100,000	110,160	-10,160	51 冊 単価 2,160 円
粘土科学誌 投稿料・別刷収入	300,000	118,800	181,200	2 件
粘土科学誌 バックナンバー収入	10,000	2,320	7,680	
Clay Science 誌 委託販売収入	150,000	114,048	35,952	66 冊 単価 1,728 円
Clay Science 誌 購読料収入	100,000	41,040	58,960	19 冊 単価 2,160 円
Clay Science 誌 投稿料・別刷収入	500,000	611,280	-111,280	5 件
Clay Science 誌 バックナンバー収入	10,000	0	10,000	
広告収入	750,000	740,000	10,000	CS 誌 4 件、粘土科学 2 件
③ 一般事業収入	2,345,000	2,285,380	－115,880	
討論会収入	1,845,000	1,914,880	-69,880	第 61 回粘土科学討論会（富山大）
参加料収入	1,000,000	997,000	3,000	討論会参加登録総数:145 名
見学会収入	125,000	188,880	-63,880	見学会参加者 24 名
懇親会収入	600,000	629,000	-29,000	懇親会参加者:97 名
広告収入	100,000	100,000	0	
講演要旨集（大会時）収入	20,000	0	20,000	
参考試料頒布事業収入	500,000	446,000	54,000	30 件
バナー広告	0	100,000	－100,000	1件
④ その他収入	500,000	176,695	323,305	
受取利息収入	1,000	4	996	
雑収入	499,000	176,691	322,309	著作権料、賞状ホルダー売上、ClayMinerals 分
⑤ 積立金受入収入	600,000	515,156	84,844	
積立金受入収入	600,000	515,156	84,844	学術振興賞、電子化推進経費
事業活動収入計	8,317,850	7,988,183	329,667	
2. 事業活動支出				
① 学会誌出版事業費支出	2,831,600	2,715,787	115,813	
粘土科学刊行費支出	1,162,000	1,004,292	157,708	
印刷製本費支出	1,000,000	921,132	78,868	56巻1号,2･3合併号, 57巻1号,(550部印刷)、棚代
別刷印刷製本費支出	100,000	54,000	46,000	56 巻 1 号、2･3 合併号
J-STAGE 登録費支出	62,000	29,160	32,840	
Clay Science 誌刊行費支出	1,319,600	1,416,636	-97,036	
印刷製本費支出	1,100,000	1,122,768	-22,768	21巻3号4号、22巻1号2号(550部)、棚代
別刷印刷製本費支出	120,000	270,540	-150,540	21 巻 3 号 4 号、22 巻 1 号、2 号
J-STAGE 登録費支出	99,600	23,328	76,272	
発送費支出	350,000	294,859	55,141	一斉発送 4 回分
その他印刷物支出	0	0	0	
② 一般事業費支出	2,786,600	2,912,780	-126,180	
討論会開催費支出	1,325,000	1,428,519	-103,519	第 61 回粘土科学討論会（富山大）
討論会運営費支出	600,000	670,863	-70,863	
見学会費支出	125,000	174,150	-49,150	
懇親会費支出	600,000	583,506	16,494	
シンポジウム	0	0	0	
ホームページ管理更新費支出	50,000	174,960	-124,960	10-7 月委託費
参考試料頒布事業費支出	280,000	214,114	65,886	
各種委員会等運営費支出	0	0	0	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星連合会費

国際交流費支出	140,000	140,408	-408	AIPEA 会費
顕彰費支出	10,000	14,040	−4,040	賞状
学術振興賞支出	100,000	50,000	50,000	学術振興賞(50,000 円×1名)
電子化推進経費支出	500,000	465,156	34,844	第59,60,61 回討論会講演要旨集J-Stage 掲載
会議費支出	371,600	415,583	-43,983	
総会支出	0	0	0	
理事会支出	30,000	3,525	26,475	9 月 25 日弁当代
常務委員会支出	320,000	383,778	-63,778	9 月 26 日弁当代、交通費
その他会議費支出	21,600	28,280	-6,680	会計監査・会計打合せ会議室代、地球惑星科学連合学協会交通費
③ 管理費支出	70,000	81,800	−11,800	
租税公課支出	70,000	81,800	−11,800	法人住民税、印紙代
④ 事務費支出	2,626,489	1,988,276	477,848	
業務委託費支出	1,985,489	1,754,981	230,508	10-7 月委託費(国際文献社)、8-9 月委託費(オフィス・ソフィエル)
旅費交通費支出	310,000	24,249	285,361	総会出席、理事会陪席交通費
通信運搬費支出	240,000	227,467	12,533	サーバー料金、送料
事務消耗品費支出	80,000	123,227	−43,227	封筒、コピー代
雑費支出	11,000	18,327	-7,327	振込手数料
事業活動支出計	8,314,689	7,859,008	455,681	
事業活動収支差額	3,161	129,175	−126,014	
II. 投資活動収支の部	0			
1. 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III. 財務活動収支の部	0			
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	3,161	129,175	−126,014	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	3,161	129,175	−126,014	

2. 平成 30 年度参考粘土試料会計決算

参考粘土試料決算報告

(平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年7月 31日)

収入の部		支出の部	
試料売り上げ(25 件)	446,000	試料代金	190,080
試料売り上げ(海外)	0	試料容器代金	0
預金利息	0	事務手数料	18,256
		振込手数料	5,778
		広告料 討論会	0
収入合計	446,000	支出合計	214,114
収入-支出	231,886		

3. 平成 30 年度学術振興積立金決算

学術振興積立金決算

(平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年7月 31日)

(単位:円)

科 目	予算額 (H29.8.1～H30.7.31)	決算額 (H29.8.1～H30.7.31)	差 異	備 考
学術振興積立金 増加分				
前年度繰越金	1,374,664	1,374,664	0	
受取利息	0	2	-2	
学術振興積立金 減少分				
本年度引当金	600,000	515,156	84,844	学術振興賞、電子化促進経費
振込手数料	0	0	0	
次年度繰越金	774,664	859,510	−84,846	

4. 平成 30 年度貸借対照表

一般社団法人日本粘土学会 平成 30 年度貸借対照表

（平成 30 年7月 31日現在）

（単位:円）

科　　目	期 末 (H30.7.31現在)	期 首 (H29.8.1 現在)	増　減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	0	74,133	−74,133
預 金	4,105,620	98,161	4,007,459
未収金	702,880	1,522,107	−819,227
流動資産合計	4,808,500	1,694,401	3,114,099
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預 金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2)その他の固定資産			
特定資産			
学術振興積立金預金	859,510	2,337,578	−1,478,068
その他の固定資産合計	859,510	2,337,578	−1,478,068
固定資産合計	859,510	2,337,578	−1,478,068
資産合計	5,668,010	4,031,979	1,636,031
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	1,419,825	1,293,768	126,057
前受金	1,219,500	0	1,219,500
前受会費	2,040,000	37,000	2,003,000
仮受金	0	112,100	−112,100
流動負債合計	4,679,325	1,442,868	3,236,457
2. 固定負債			
引当金			
学術振興積立金引当金	0	1,214,447	−1,214,447
固定負債合計	0	1,214,447	−1,214,447
負債合計	4,679,325	2,657,315	−865,970
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産	1,374,664	2,589,111	−1,214,447
当期正味財産増減額	-385,979	−1,214,447	828,468
正味財産合計	988,685	1,374,664	-385,979
負債及び正味財産合計	5,668,010	4,031,979	1,636,031

5. 平成 30 年度財産目録

一般社団法人日本粘土学会 平成 30 年度財産目録

（平成 30 年7月 31日現在）

（単位 ： 円）

科　　目	期 末 (H30.7.31 現在)	期 首 (H29.8.1 現在)	増　減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金手許有高	0	74,133	−74,133
郵便振替(一社 日本粘土学会 年会費受入れ用)	740,848	28,778	712,070
郵便振替(日本粘土学会 討論会用)	1,114,500	0	1,114,500
普通預金 みずほ銀行（日本粘土学会）	0	459	−459
普通預金 みずほ銀行（一社 日本粘土学会）	1,492,313	51,343	1,440,970
普通預金 三菱東京 UFJ 銀行（一社 日本粘土学会）	242,803	17,581	225,222
定期預金 みずほ銀行（一社 日本粘土学会）	515,156	0	515,156
未収金 賛助会員会費、別刷代、広告代	702,880	307,660	395,220
未収金 学術振興積立金引当金	0	1,214,447	−1,214,447
流動資産合計	4,808,500	1,694,401	3,114,099
2. 固定資産			
その他の固定資産 特定資産			
定期預金 みずほ銀行 （学術振興積立金）	859,510	2,200,000	−1,340,490
普通預金 みずほ銀行 （学術振興積立金）	0	137,578	−137,578
固定資産合計	859,510	2,337,578	−1,478,068
資産合計	5,668,010	4,031,979	1,636,031
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金 国際文献社	1,150,500	1,275,183	−124,683
未払金 ヤマト運輸	0	225	−225
未払金 標準粘土資料分	17,280	18,360	-1,080
未払金 その他	252,045	0	252,045
前受金 討論会参加費	1,114,500	0	1,114,500
前受金 CS 冊子体購読料	105,000	0	105,000
前受会費 正会員	1,317,000	37,000	1,280,000
前受会費 シニア会員	28,000	0	28,000
前受会費 学生会員	45,000	0	45,000
前受会費 賛助会員	650,000	0	650,000
仮受金 Clay Material	0	112,100	−112,100
流動負債合計	4,679,325	1,442,868	3,236,457
2.固定負債			
引当金			
学術振興積立金引当金	0	1,214,447	-1,214,447
固定負債合計	0	1,214,447	−1,214,447
負債合計	4,679,325	2,657,315	2,022,010
正 味 財 産	988,685	1,374,664	−385,979

６． 平成 30 年度正味財産増減計算書

一般社団法人日本粘土学会　平成 30 年度　正味財産増減計算書
（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）

（単位：円）

科　　目	平成 30 年度 (H29.8.1～H30.7.31)	平成 29 年度 (H28.8.1～H29.7.31)	増　減
I.一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①　受取会費	3,023,500	2,977,000	46,500
正会員受取会費	2,154,500	2,093,000	61,500
シニア会員受取会費	35,000	28,000	7,000
学生会員受取会費	84,000	56,000	28,000
賛助会員受取会費	750,000	800,000	-50,000
②　学会誌出版事業収益	1,811,952	1,663,960	147,992
図書頒布収益	1,071,952	1,173,960	-102,008
粘土科学誌委託販売収益	74,304	93,312	-19,008
粘土科学誌購読料収益	110,160	58,320	51,840
粘土科学誌投稿料・別刷収益	118,800	386,100	-267,300
粘土科学誌バックナンバー収益	2,320	0	2,320
ClayScience 誌委託販売収益	114,048	114,048	0
ClayScience 誌購読料収益	41,040	19,440	21,600
ClayScience 誌投稿料・別刷収益	611,280	496,260	115,020
講演要旨集(討論会外)収益	0	6,480	-6,480
広告収益	740,000	490,000	250,000
③　一般事業収益	2,460,880	2,233,000	227,880
討論会収益	1,914,880	1,878,000	36,880
参加料収益	997,000	1,021,000	-24,000
見学会収益	188,880	125,000	63,880
懇親会収益	629,000	662,000	-33,000
広告収益	100,000	70,000	30,000
参考試料頒布事業収益	446,000	355,000	91,000
バナー広告収益	100,000	0	100,000
④　その他収益	176,697	245,741	-69,044
受取利息収益	6	100	-94
雑収益	176,691	245,641	-68,950
⑤　積立金受入収益	0	1,214,447	-1,214,447
積立金受入収益	0	1,214,447	-1,214,447
経常収益計	7,473,029	8,334,148	-861,119
(2)経常費用			
①　学会誌出版事業費	2,715,787	3,236,367	-520,580
粘土科学刊行費	1,004,292	1,481,112	-476,820
印刷製本費	921,132	1,047,384	-126,252
別刷印刷製本費	54,000	357,912	-303,912
J-STAGE 登録費	29,160	75,816	-46,656
ClayScience 誌刊行費	1,416,636	1,324,026	92,610
印刷製本費	1,122,768	919,350	203,418
別刷印刷製本費	270,540	328,860	-58,320
J-STAGE 登録費	23,328	75,816	-52,488

発送費	294,859	431,229	-136,370
その他印刷物	0	0	0
②　一般事業費	2,912,780	3,103,368	-190,588
討論会開催費	1,428,519	1,263,406	165,113
討論会運営費	670,863	636,225	34,638
見学会費	174,150	65,781	108,369
懇親会費	583,506	561,400	22,106
シンポジウム	0	0	0
ホームページ管理更新費	174,960	0	174,960
参考試料頒布事業費	214,114	244,701	-30,587
学術交流費	10,000	10,000	0
国際交流費	140,408	149,721	-9,313
顕彰費	14,040	10,800	3,240
学術振興賞	50,000	100,000	-50,000
電子化推進経費	465,156	756,540	-291,384
会議費	415,583	568,200	-152,617
総会	0	0	0
理事会	3,525	0	3,525
常務委員会	383,778	546,600	-162,822
その他会議費	28,280	21,600	6,680
③　管理費	81,800	58,300	23,500
租税公課	81,800	58,300	23,500
④　事務費	2,148,641	1,936,113	212,528
業務委託費	1,754,981	1,460,160	294,821
旅費交通費	24,639	101,391	-76,752
通信運搬費	227,467	194,241	33,226
事務消耗品費	123,227	176,433	-53,206
雑費	18,327	3,888	14,439
経常費用計	7,859,008	8,334,148	-475,140
当期経常増減額	-385,979	0	-385,979
2.経常外増減の部	0		
１.経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
２.経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-385,979	-1,214,447	828,468
一般正味財産期首残高	1,374,664	2,589,111	-1,214,447
一般正味財産期末残高	988,685	1,374,664	-385,979
Ⅱ正味財産期末残高	988,685	1,374,664	-385,979

7. 平成 30 年度監事監査報告

平成 30 年 8 月 13 日

監 事 監 査 報 告 書

一般社団法人日本粘土学会
会長　八田　珠郎　殿

一般社団法人日本粘土学会

監事　山崎淳司

監事　月村勝宏

私たち監事は、一般社団法人日本粘土学会の平成 29 年 8 月 1 日から平成 30 年 7 月 31 日までの平成 30 年度の監査を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

1　監査の方法及びその内容

各監事は、一般社団法人日本粘土学会の常務委員会及び理事会等の会議に出席して理事及び使用人等から業務の執行状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、平成 30 年 8 月 13 日に当該事業年度に係る事業報告書、計算書類（収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書）及びその付属明細書等の調査を行いました。

2　監査の結果

(1) 常務委員及び理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(3) 計算書類及びその付属明細書等は、当法人の収支、財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

第3号議案　平成 31 年度事業計画

一般社団法人日本粘土学会　平成 31 年度事業計画書
（平成 30 年 8 月 1 日～平成 31 年 7 月 31 日）

1．学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

学会誌「粘土科学」を下記の通り3冊発行する。

平成30年8月：第57巻2号を発行予定。主な掲載内容：第62回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）、日本粘土学会平成30年度総会案内、論文、その他

平成30年12月：第57巻3号を発行予定。主な掲載内容：平成30年度日本粘土学会学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀発表賞の選考結果報告、平成30年度学術振興賞の受賞報告、平成31年度日本粘土学会学会賞等（学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞）受賞候補者の募集、平成31年度日本粘土学会学術振興賞の募集、第62回粘土科学討論会の報告、第63回粘土科学討論会の予告、論文、その他

平成 31 年 3 月：第 58 巻 1 号を発行予定、主な掲載内容：第 63 回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込み等）、論文、その他

(2) Clay Science

英文学会誌「Clay Science」を下記の通り 4 冊発行する、

平成 30 年 8 月 Vol.22, No.3　発行予定
平成 30 年 12 月 Vol.22, No.4　発行予定
平成 31 年 3 月 Vol.23, No.1　発行予定
平成 31 年 6 月 Vol.23, No.2　発行予定

Clay Science への投稿数を増やすため、会員及び会員以外の国内・国外研究者への積極的な投稿呼びかけを行う。

2．研究発表会・見学会等の開催

(1) 第 62 回粘土科学討論会(早稲田大学)の準備と開催

平成 30 年 8 月　プログラムに掲載する広告の募集、講演要旨集 pdf 版の作成。参加者の名札、領収書類等の準備など。

平成 30 年 9 月　会場の設営。使用する機器（プロジェクター、マイク、レーザーポインタ、ベル、ストップウオッチ、など）の準備。会場で販売する学会誌等（粘土科学、Clay Science、討論会要旨集）のバックナンバーと領収書の準備。開会。

平成 30 年 10 月　討論会の会計処理と会計報告書の作成、粘土科学に掲載する討論会報告書の作成。

平成 31 年 1 月　常務委員会及び理事会で第 62 回粘土科学討論会の開催・会計報告。

(2) 第 63 回粘土科学討論会(埼玉大学)の準備

平成 30 年 12 月　討論会の開催予告をホームページに掲載する。

平成 31 年 1 月　討論会の開催計画を作成する。

平成 31 年 2 月　事務局から関連学会への共催・後援の依頼を行う

平成 31 年 3 月　第 63 回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込等）を粘土科学およびホームページに掲載する。

平成 31 年 6 月　講演申込の受付を行う。

平成 31 年 7 月　講演プログラム（案）を作成する。第 63 回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）を粘土科学に掲載する。講演要旨に掲載する企業広告の募集を行う。

3．シンポジウム・セミナーの開催

(1) 第 62 回粘土科学討論会でのシンポジウム開催

平成30年9月10日シンポジウムテーマ「粘土鉱物周辺の無機材料」として講演者5名、約3時間枠で開催する。平成30年11月末粘土科学に掲載する第62回粘土科学討論会シンポジウム報告を作成する。

(2) 第 63 回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備

第63回粘土科学討論会でのシンポジウム・セミナーの企画及び実施に向けた準備を行う。シンポジウムテーマは理事会に諮って決定する。４～５名の講師を依頼し、開催時間３時間程度（各講師30～40分程度）で計画する。シンポジウムの開催に向けて、以下の準備を行う。

平成31年1月末シンポジウム概略を草案
平成31年2月末スケジュール決定、講演者確定・依頼
平成31年3月末粘土科学及びHP掲載の案内作成
平成31年6月末講演者確定への連絡、予稿原稿の依頼
平成 31 年 7 月中予稿原稿の収集・提出

4. 参考粘土試料

日本粘土学会参考試料として、次の粘土鉱物試料の頒布を行う。

JSCC-1101b カオリナイト(関白)
JSCC-1301 ディッカイト(勝光山)
JSCC-2101 パイロフィライト(勝光山)
JSCC-3101 モンモリロナイト(月布)
JSCC-3102 モンモリロナイト(三川)
JSCC-3501 合成サポナイト(クニミネ工業)
JSCC-5501 ハイドロバイオタイト(南アフリカ)

5. 広 報

学会ホームページの更新と、必要に応じて粘土科学Q&Aに対する対応、バナー広告の掲載、メーリングリストを利用した各種案内等の送信を行う。なお、平成31年度のホームページの主な更新及び掲載内容の予定は下記のとおりである。

平成30年10月：平成30年度総会議案書、平成30年度総会議事録、平成31年度第1回理事会及び常務委員会議事録、の掲載。
平成30年12月：第63回粘土科学討論会予告の掲載。
平成31年2月：平成31年度第2回理事会及び常務委員会議事録の掲載。
平成31年3月：平成31年度日本粘土学会学会賞等（学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞）受賞候補者の募集、平成31年度日本粘土学会学術振興賞の募集、第63回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込み予告等）の掲載。
平成31年6～7月：第63回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）、各種申込みフォームの掲載、平成31年度第3回理事会及び常務委員会議事録の掲載。
平成 31 年 8 月：総会開催のお知らせ、平成 31 年度第 4 回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

6. 渉 外

AIPEA ニュースレターの作成及び送付、第4回アジア粘土会議の開催に対する協力等を行う。また、粘土に関する国際会議においてアジア粘土会議としてセッションを立てるなど、日本やアジアの粘土研究のアクティビティを紹介できる活動を行う。2024 年に予定している米国粘土学会とアジア粘土会議の合同会議に向けた協力関係を継続する。

7. 表 彰

(1) 学会賞等

平成31年度日本粘土学会賞等（学会賞、功績賞、奨励賞、技術賞）の受賞候補者の推薦を募集する。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。選考委員会において受賞候補者の選考を行う。また、粘土科学誌および Clay Science 誌に掲載された論文の中から論文賞受賞候補論文の選考を行う。各賞の受賞候補者数は、学会賞：1名以内、功績賞：若干名、奨励賞：2名以内、技術賞：2名(件)以内、論文賞：原則として2編とする。

(2) 学術振興賞

平成 31 年度学術振興賞の募集を行う。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。応募者に対して選考委員会で受賞候補者の選考を行う。受賞者数は2名以内とする。

8. 研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部を援助する。研究グループの活動期間は原則として 3 年とし、活動資金の援助は活動期間を通して1回限り5万円とする。

9. 庶　務

(1) 他学会等との連絡・協力

公益社団法人日本地球惑星科学連合の団体会員として地球惑星科学系学会との連携を継続するとともに、日本学術会議の動向に関する情報収集を行う。

(2) 関連学協会との共催・協賛

粘土科学にかかわる各部門の学協会が開催する学会、講演会、展示会等の共催・協賛を行いつつ、連携と協力を進める。

(3) 会員動向

会員動向の適切な把握に努めると共に、ホームページの会員マイページの利用を勧める。

10. 学会誌等の電子化推進

(1) Clay Science の電子ジャーナル化

平成 30 年 12 月(22 巻 4 号)から Clay Science を J-STAGE をプラットホームとした電子ジャーナルに移行する。

(2) 粘土科学討論会講演要旨集の電子化

第 62 回粘土科学討論会から討論会講演要旨集を電子化し、J-STAGE への登録及び公開を行う。

11. 常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

平成 31 年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催する。

9 月 11 日(火)第1回常務委員会

主な議題:平成 31 年度常務委員の役割分担、平成 31 年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1 月 26 日(土)第2回常務委員会

主な議題:平成 31 年度事業中間報告、平成 31 年度会計中間報告、第 62 回粘土科学討論会会計報告、第 63 回粘土科学討論会について、その他

7 月 27 日(土)第3回常務委員会

主な議題:平成 31 年度事業中間報告、平成 31 年度会計中間報告、平成 32 年度事業計画、平成 32 年度予算、平成 31 年度学会賞等の選考結果、平成 31 年度学術振興賞選考結果、第 63 回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8 月 24 日(土)第4回常務委員会

主な議題:平成 31 年度事業報告、平成 31 年度会計決算及び監査報告、平成 31 年度総会議案書、第 63 回粘土科学討論会について、その他

(2) 理事会

平成 31 年度事業の業務執行を決定するため、下記のとおり理事会を開催する。

9 月 10 日(月)第1回理事会

主な議題:平成 31 年度常務委員構成、平成 31 年度委員会委員(学会賞等選考委員会委員、学術振興積立金運営委員会委員、役員候補者推薦委員会委員、選挙管理委員会委員、他)の選出、平成 31 年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1 月 26 日(土)第2回理事会

主な議題:平成 31 年度事業中間報告、平成 31 年度会計中間報告、第 62 回粘土科学討論会会計報告、第 63 回粘土科学討論会について、その他

7 月 27 日(土)第3回理事会

主な議題:平成 31 年度事業中間報告、平成 31 年度会計中間報告、平成 32 年度事業計画、平成 32 年度予算、平成 31 年度学会賞等の選考結果、平成 31 年度学術振興賞選考結果、第 63 回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8 月 24 日(土)第4回理事会

主な議題:平成 31 年度事業報告、平成 31 年度会計決算及び監査報告、平成 31 年度総会議案書、第 63 回粘土科学討論会について、その他

第4号議案　平成 31 年度収支予算

一般社団法人日本粘土学会　平成31年度収支予算

（平成 30 年 8 月 1 日～平成 31 年 7 月 31 日）

一般会計　　（単位：円）

科　　目	平成31年度予算額 (H30.8.1～H31.7.31)	平成30年度予算額 (H29.8.1～H30.7.31)	差　額	備　考
1. 事業活動収入				
①　会費収入	2,936,000	2,852,850	83,150	
正会員会費収入	1,967,000	1,932,000	35,000	7,000 円×281 名(92%)
シニア会員会費収入	35,000	28,000	7,000	3,500 円×10 名
学生会員会費収入	84,000	122,850	−38,850	3,500 円×24 名(80%)
賛助会員会費収入	850,000	770,000	80,000	40,000 円×7社, 30,000 円×7 社, 20,000 円×13社
②　学会誌出版事業収入	1,690,000	2,020,000	−330,000	
図書頒布収入	1,090,000	1,270,000	−180,000	
粘土科学誌　委託販売収入	80,000	100,000	−20,000	
粘土科学誌　購読料収入	110,000	100,000	10,000	
粘土科学誌　投稿料・別刷収入	120,000	300,000	−180,000	
粘土科学誌　バックナンバー収入	10,000	10,000	0	
Clay Science 誌　委託販売収入	120,000	150,000	−30,000	
Clay Science 誌　購読料収入	150,000	100,000	50,000	英文冊子販売数を含む
Clay Science 誌 投稿料・別刷収入	500,000	500,000	0	
Clay Science 誌 バックナンバー収入	0	10,000	−10,000	
広告収入	600,000	750,000	−150,000	広告契約150,000x4 件
③　一般事業収入	2,320,000	2,345,000	-25,000	
討論会収入	1,820,000	1,845,000	-25,000	
参加料収入	1,100,000	1,000,000	100,000	
見学会収入	0	125,000	−125,000	
懇親会収入	600,000	600,000	0	
広告収入	100,000	100,000	0	
講演要旨集（大会時）収入	20,000	20,000	0	
参考試料頒布事業収入	400,000	500,000	−100,000	
ホームページバナー広告収入	100,000	0	100,000	年間契約1 件
④ その他収入	60,000	500,000	−440,000	
受取利息収入	0	1,000	−1,000	
雑収入	60,000	499,000	−439,000	
④　積立金受入収入	100,000	600,000	−500,000	
積立金受入収入	100,000	600,000	−500,000	学術振興賞
事業活動収入計	7,106,000	8,317,850	−1,211,850	
2. 事業活動支出				
①　学会誌出版事業費支出	2,400,000	2,831,600	−431,600	
粘土科学刊行費支出	1,100,000	1,162,000	−62,000	
印刷製本費支出	980,000	1,000,000	−20,000	57 巻2 号、3 号、58 巻1 号（各550 部）
別刷印刷製本費支出	100,000	100,000	0	
J-STAGE 登録費支出	20,000	62,000	−42,000	1 論文5000 円　頁250 円
Clay Science 誌刊行費支出	1,000,000	1,319,600	−319,600	
印刷製本費支出	810,000	1,100,000	−290,000	21 巻3 号、4 号(各号550 部印刷) 以降電子化22 巻1 号、2 号(100 部印刷)
別刷印刷製本費支出	100,000	120,000	−20,000	
J-STAGE 登録費支出	90,000	99,600	−9,600	1 論文5000 円　頁250 円
発送費支出	300,000	350,000	−50,000	
②　一般事業費支出	2,210,000	2,786,600	−576,600	
討論会開催費支出	1,200,000	1,325,000	-125,000	
討論会運営費支出	600,000	600,000	0	
見学会費支出	0	125,000	−125,000	
懇親会費支出	600,000	600,000	0	
ホームページ管理更新費支出	120,000	50,000	70,000	更新管理、セキュリテイサポート12か月分
参考試料頒布事業費支出	200,000	280,000	−80,000	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星連合会費
国際交流費支出	140,000	140,000	0	AIPEA 会費
顕彰費支出	10,000	10,000	0	
学術振興賞支出	100,000	100,000	0	学術振興賞 50,000 x 2 名
電子化推進経費支出	0	500,000	−500,000	
会議費支出	430,000	371,600	58,400	
理事会支出	30,000	30,000	0	討論会会期中の弁当費
常務委員会支出	500,000	320,000	180,000	交通費(＋討論会会期中の弁当費
その他会議費支出	0	21,600	−21,600	現事務所で監査での会議室使用料(国際文献社会議室利用の場合無料)
③ 管理費　支出	81,200	70,000	11,200	

租税公課支出	81,200	70,000	11,200	都民税、印紙代(登記時)
③ 事務費支出	1,724,667	2,626,489	-901,822	
業務委託費支出	1,423,667	1,985,489	-561,822	国際文献社委託費
旅費・交通費支出	1,000	310,000	-309,000	都内交通費
通信・運搬費支出	210,000	240,000	-30,000	
事務消耗品費支出	80,000	80,000	0	
雑費支出	10,000	11,000	-1,000	
事業活動支出計	6,565,867	8,314,689	-1,748,822	
事業活動収支差額	590,133	3,161	586,972	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0		
投資活動収入計	0	0		
2. 投資活動支出	0	0		
投資活動支出計	0	0		
投資活動収支差額	0	0		
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0		
財務活動収入計	0	0		
2. 財務活動支出	0	0		
財務活動支出計	0	0		
財務活動収支差額	0	0		
当期収支差額	590,133	3,161	586,972	
前期繰越収支差額	129,175	0	129,175	
次期繰越収支差額	719,308	3,161	716,147	

第5号議案　平成 31・32 年度理事の選任

平成 30 年 6 月 5 日に公示された平成 31・32 年度役員選挙により選出された理事候補者及び会長指名による理事候補者は以下のとおりです。下記の理事候補者28名を平成 31・32 年度日本粘土学会理事に選任することを提案します。

一般社団法人日本粘土学会　平成 31・32 年度理事候補者(順不同・敬称略)

役　職	氏　名	分　野	所　属
理　事	伊藤　弘志	1	中間貯蔵・環境安全事業(株)
理　事	蛯名　武雄	2	産業技術総合研究所
理　事	大河原　正文	5	岩手大学
理　事	大川　政志	3	沼津工業高等専門学校
理　事	太田　俊一	2	トピー工業(株)
理　事	岡田　友彦	2	信州大学
理　事	小口　千明	1, 5	埼玉大学
理　事	亀島　欣一	2, 3, 6	岡山大学
理　事	河野　元治*	1, 4	鹿児島大学
理　事	川俣　純	3	山口大学
理　事	桑原　義博	1	九州大学
理　事	笹井　亮	3, 6	島根大学
理　事	寒河江　竹弘	3	日本ポリケム(株)
理　事	佐藤　努	1, 2	北海道大学
理　事	鈴木　憲子	2, 6	昭和薬科大学
理　事	鈴木　正哉	1, 2	産業技術総合研究所
理　事	高木　慎介	3, 6	首都大学東京
理　事	高橋　範行	2, 3	水澤化学工業(株)
理　事	手束　聡子	2	千葉科学大学
理　事	中川　昌治	1	高知大学
理　事	中戸　晃之	3	九州工業大学
理　事	日比野　俊行	2	産業技術総合研究所
理　事	万福　裕造	4, 5	農業・食品産業技術総合研究機構
理　事	牧野　知之	4	東北大学
理　事	森下　智貴	5	(株)大林組
理　事	山崎　淳司	1, 2, 5	早稲田大学
理　事	横山　信吾	1, 2	電力中央研究所
理　事	渡邊　雄二郎	2, 3, 6	法政大学

分野:1:地球科学, 2:資源・材料, 3:化学・物理, 4:土壌・肥料・農林業, 5:建設・土木, 6:環境・新領域
以上、理事候補28 名。＊印は会長指名による理事候補を表します。

第6号議案　平成 31・32 年度会長の選任

平成 30 年 6 月 5 日に公示された平成 31・32 年度役員選挙により選出された会長候補者は以下のとおりです。下記の会長候補者を平成 31・32 年度日本粘土学会会長に選任することを提案します。

一般社団法人日本粘土学会　平成 31・32 年度会長候補者(敬称略)

役　職	氏　名	分　野	所　属
会　長	山崎　淳司	1, 2, 5	早稲田大学

分野:1:地球科学, 2:資源・材料, 3:化学・物理, 4:土壌・肥料・農林業, 5:建設・土木, 6:環境・新領域

第7号議案　平成 31・32 年度監事の選任

平成 30 年 6 月 5 日に公示された平成 31・32 年度役員選挙により選出された監事候補者は以下のとおりです。下記の監事候補者2名を平成 31・32 年度日本粘土学会監事に選任することを提案します。

一般社団法人日本粘土学会　平成 31・32 年度監事候補者(順不同・敬称略)

役　職	氏　名	分　野	所　属
監　事	月村　勝宏	1	産業技術総合研究所
監　事	志々目　正高	1, 2, 6	前田工繊株式会社

分野:1:地球科学, 2:資源・材料, 3:化学・物理, 4:土壌・肥料・農林業, 5:建設・土木, 6:環境・新領域

第 8 号議案　名誉会員の推薦

平成 30 年 6 月 12 日付で、岡田　清会員が日本粘土学会名誉会員に推薦されました。平成 30 年 7 月 28 日開催の平成 30 年度第 3 回理事会で審議した結果、岡田　清会員を名誉会員とすることを提案します。

氏　名：　岡田 清
満年齢：　70 歳
生年月日：　昭和 23 年 9 月 5 日

推薦理由：

日本粘土学会の名誉会員に岡田　清会員を推薦申し上げたく、ここに申請致します。岡田　清会員は、日本粘土学会会員として粘土科学の諸分野を長きに渡り先導され、我が国における粘土研究の発展に御尽力なされました。また、評議員及び常務委員として日本粘土学会の運営に長きに渡り御貢献され、平成 5 年度から 8 年度に常務委員長、平成 19、20 年度に副会長、平成 21、22 年度に学会長を務められました。なお、岡田会員は学会長として、特に国際化に御尽力され、平成 22 年の第 1 回 Asian Clay の開催を成功に導かれました。また、後進の育成にも熱心に取り組まれ、多くの優れた人材を様々な粘土科学関連分野に送り出されました。

以上のように、岡田会員は粘土科学及び日本粘土学会の発展に長年にわたり御貢献され、名誉会員としての十分な資格をお持ちであると考えられますので、ここに強く推薦申し上げます。

Ⅱ. 報告事項

1. 平成 30 年度学会賞等の受賞者

⑴ 学会賞　高木 慎介 （首都大学東京　大学院都市環境科学研究科）
受賞題目「粘土鉱物ー色素複合体における分子レベルナノ構造化学の開拓」

⑵ 功績賞　坂本 尚史 （倉敷芸術科学大学 危機管理学部）
受賞題目「日本粘土学会参考粘土試料の創設による粘土科学の社会への普及と啓蒙」

⑶ 奨励賞　黒田　義之 （横浜国立大学 大学院工学研究院）
受賞題目「配位化学を活用した層状金属水酸化物の精密構造制御と機能開拓」

⑷ 奨励賞　敷中 一洋 （産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門）
受賞題目「粘土鉱物をコンポーネントとした刺激応答性材料の創製」

⑸ 技術賞　上原 元樹 （公益財団法人鉄道総合技術研究所）
受賞題目「環境負荷低減コンクリートの開発およびコンクリートのアルカリシリカ反応の研究」

(6) 論文賞　K. Takahashi, R. Ishii, A. Suzuki, T. Nakamura,　M. Yoshida, and T. Ebina
受賞論文：Preparation of lignin/montmorillonite nanocomposite films and its characterization for electronic devices. Clay Science 21, 1-6 (2017).

論文賞　金城和俊、島田晴加
受賞論文：南大東島に分布する赤色土壌の一部に生成された灰白色化土壌の生成メカニズムの検討. 粘土科学　第 56 巻 第 1 号 1-7（2017）.

2. 平成 30 年度学術振興賞の受賞者

東　裕貴 （山口大学大学院 創成科学研究科　地球圏生命物質科学系専攻 修士2年）
受賞発表：Direct observation and optical manipulation of exfoliated niobate nanosheets.

3. 第 62 回粘土科学討論会の開催状況（8月11日現在の参加申込状況）

講演数、参加登録者、懇親会参加者は次のとおりです。

(1) 講演数
会長講演、特別講演1件、シンポジウム講演 5件、 一般講演 口頭発表 38件、 ポスター発表 37件
合計 82件

(2) 参加登録者
正会員（含シニア会員, 名誉会員） 80名、 学生会員 12名、 共催学会員 6名
共催学会学生会員 5名、 非会員 11名、 学生非会員 10名、 合計 124名

(3) 懇親会参加者　83名